

【全体概要】

平成28年2月に奨励品種に採用され、平成30年から一般栽培が開始される「静系糯20号(葵美人)」の品種特性を活用し、稲作農家の所得向上及び産地活性化を図るため、大規模農家への迅速かつ円滑な普及、産地ブランドの構築に向けたコンソーシアムの形成に向けた取組を行った。

新品種・新技術等の概要

【静系糯20号】

県内で多く生産されている糯品種は「するがもち」であるが、中生品種であるため、粳米主力品種の収穫期と重なり、特に大規模稲作農家には糯米の作付けが敬遠されがちであった。

今回、奨励品種に採用した「静系糯20号」は、粳米主力品種と熟期が重ならず、加工特性に優れているため、導入されやすい品種である。

品種・系統名	成熟期 (月・日)	精玄米重 (kg/a)
静系糯20号	10.07	55.8
するがもち	10.02	52.3

注) 6月1日田植の収穫時期 (H24～27) の平均



現地検討会の様子

主な取組内容

【現地適応性の検討】

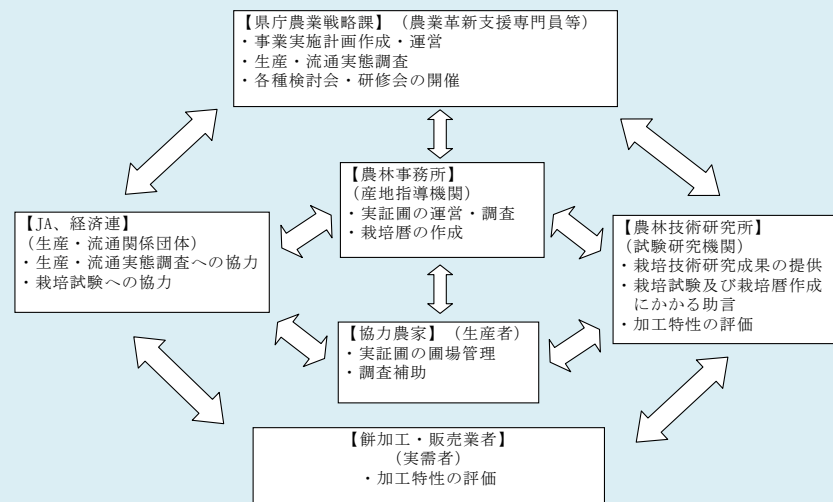
現地5箇所において、計150aの試験栽培ほを設置し、生育、収量、玄米品質等の調査を行うとともに、大規模農家の作付体系への導入の可能性を検討した。

【静系糯20号の需要調査】

静岡県菓子工業組合などに加工に使用する糯米の銘柄や使用量、購入先等について調査し、静系糯20号の需要量を推測した。

また、購入を希望する菓子業者に、静系糯20号の加工特性についてアンケート調査を行った。

コンソーシアム候補の体制図



実績と今後の展開

【実績】

- ・「静系糯20号(葵美人)」は、加工後の餅色が白く、伸びがよいことが理解された。
- ・県内では他県産の糯米が多く流通しているが、今回の調査で本県産糯米への需要が認められた。

【今後の展開】

- ・「するがもち」に代わり「静系糯20号(葵美人)」を導入することにより大規模農家の収穫期が分散するため、糯品種の作付拡大を図る。